舞鶴工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	建設製図制作

科目基礎情報

科目番号	0040	科目区分	専門 / 必修
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 3
開設学科	建設システム工学科	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	3
教科書/教材	必要に応じて資料を配布する		
担当教員	徳永 泰伸,尾上 亮介,渡部 昌弘,中尾 尚史		

到達目標

1　アイデアを発案し図面や模型で表現できる
2　提案内容を発表できる
3　建設におけるものつくりのプロセスを理解する

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	正確にアイデアを発案し図面や模型で表現できる	適切にアイデアを発案し図面や模型で表現できる	適切にアイデアを発案し図面や模型で表現できない
評価項目2	正確に提案内容を発表できる	適切に提案内容を発表できる	適切に提案内容を発表できない
評価項目3	正確に建設におけるものつくりのプロセスを理解する	適切に建設におけるものつくりのプロセスを理解する	適切に建設におけるものつくりのプロセスを理解できない

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (C) 学習・教育到達度目標 (D) 学習・教育到達度目標 (G) 学習・教育到達度目標 (I)

教育方法等

概要	これまでに学んだ設計製図や構造力学の知識を生かし，課題作品の制作を行うことにより，アイデアの発案，製図，模型製作，実物製作，発表という建設におけるものつくりのプロセスを理解する。
授業の進め方・方法	【授業方法】 ・演習を中心に授業を進める。 ・個人での制作課題、グループでの実習、制作を行う。 【学習方法】 ・演習授業のため、授業内で分からないことは各自質問すること。 ・課題ごとに提出を行う。
注意点	【成績の評価方法・評価基準】 提出作品（図面，模型，課題作品），発表会でのプレゼンテーションおよび報告書で総合評価を行う。なお，定期試験および追試験は行わない。図面や模型表現，プレゼンテーション，建設におけるものつくりのプロセスの理解についての到達度を評価基準とする。 【備考】 集合場所，持参物などは授業中に案内するので注意すること。 【教員の連絡先】 研究室　A棟３階（A-306） 内線電話　8963 e-mail: onoeアットマークmaizuru-ct.ac.jp（アットマークは@に変えること）

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明，課題出題と解説	
		2週	エスキース1	
		3週	エスキース2	
		4週	エスキース3	1，3
		5週	立案のまとめ	1，3
		6週	製図1（平面図・断面図）	1，3
		7週	製図2（平面図・断面図）	1，3
		8週	製図3（透視図）	1，3
	2ndQ	9週	製図4（透視図）	1，3
		10週	模型制作1	1，3
		11週	模型制作2	1，3
		12週	模型制作3	1，3
		13週	発表準備	1，3
		14週	課題作品の発表会	2
		15週	CADによる製図	
		16週		
後期	3rdQ	1週	課題説明、SketchUpによるモデリング演習	
		2週	敷地調査1、エスキース1	1，3
		3週	敷地調査2、エスキース2	1，3
		4週	敷地図作成1、エスキース3	1，3

		5週	敷地図作成2、エスキース4	1，3
		6週	敷地図作成3、エスキース5	1，3
		7週	敷地模型製作1、製図1（平面図・立面図・断面図）	1，3
		8週	中間提案書提出、敷地模型製作2、製図2（平面図・立面図・断面図）	1，3
	4thQ	9週	製図3（平面図・立面図・断面図）	1，3
		10週	製図4（平面図・立面図・断面図）	1，3
		11週	模型製作1	1，3
		12週	模型製作2	1，3
		13週	ポスター製作1、発表準備1	1，3
		14週	ポスター製作2、発表準備2	1，3
		15週	課題作品の提出・発表会・展示等	2
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	知的財産の獲得などで必要な新規アイデアを生み出す技法などについて説明できる。	3	
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	製図	図の配置、尺度、表題欄、寸法と寸法線の規約について、説明できる。	3	前2,前3,前4,前5
		建築系分野	設計・製図	ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前8,前9,前10,前11,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	20	0	0	80	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	20	0	0	80	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0